






# 事前課題発表へのコメント

20101209

学術コンテンツ課CAT担当高橋

# 皆様の出してくださった論点

- 目録の課題は大きく3つ
  - レコード調整の負担感  ①
  - 業務の量と品質のバランス  ①
  - 目録の人材育成  ②
- ILLの課題は謝絶率
- 電子リソースへの対応  ③
- ユーザーコミュニティの必要性  ④
- 業務分析の必要性

# NIIでの取り組み状況

- 書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト(H16-17)
- 次世代目録WG(H19-20)
  - 『「次世代目録所在情報サービスの在り方について（最終報告）」の公開』
- 次世代コンテンツ基盤・目録関連WG(H21-)
  - 大学図書館員とNIIが、目録を次世代コンテンツ基盤という視点から検討するWG
- CATデー
  - 2010年9月29日開催
  - NIIの教員・職員でNACSIS-CATを考える会

# CATデーでの検討課題

## 2010年の課題

- CATの意義・歴史
- ① • 書誌の品質
- コストパフォーマンス
- ③ • 電子リソース
- 新刊登録の改善
- 遡及入力の支援
- 類似サービス(カーリル, OCLC)
- ② • 人材育成
- 図書館ベンダー
- ④ • 参加館コミュニティー

## 2006年の課題

- CATの目的
- 運営方法
- 図書館システムとCAT
- 電子資料
- 出版データ
- FRBR



# 次世代コンテンツ基盤・目録関連WG

- 「学術コンテンツ運営・連携本部 図書館連携作業部会」の下にワーキンググループを設置し、目録所在情報サービスについて中長期的な検討をおこなっています。
- メンバー
  - 作業部会委員 9名
  - 大学図書館現場のタスクメンバー 9名
  - NIIの関係者

# 新世代学術コンテンツ基盤の在り方をめぐる検討

タスク	課題	進捗状況
タスク1	NACSIS-CAT/ILLの運営方式の再検討(基本方針(案)の策定に向けて);『次世代目録所在情報サービスの在り方について(最終報告)』の見直しおよび提言	<ul style="list-style-type: none"><li>・国立大学図書館協会学術情報委員会学術システム小委員会とWG1メンバーが合同で、意見交換を行った。</li><li>・NII内でもNACSIS-CATを集中的に議論し、現在の課題の洗い出しを行った。</li></ul>
タスク2	目録およびメタデータに関連する標準化の動向調査と対応可能性の検討 ① メタデータの整備(MARCフォーマット, RDA, NCR改訂, ONIX, その他)に関する動向調査と今後の方向性の検討 ② デジタルオブジェクト識別子の整備に関する動向調査と検討(VIAF, ISNI, ORCID, ISTC, その他)	<ul style="list-style-type: none"><li>・海外動向に関する文献の翻訳を行い, Wikiで公開した。</li><li>・著作権処理を行った文献については, 公式サイトでも公開する。</li><li>・今後は, identifier関連の報告書を現状に合わせて改訂していく。</li></ul>
タスク3	(必要に応じて) 認証基盤の確立に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"><li>・米国フェデレーションInCommonと学認ライブラリチームとの合同ミーティングをシカゴで開催し, EJベンダー統合に関する情報交換を行った。</li></ul>

# 『次世代目録所在情報サービスの在り方 について(最終報告)』の具体化

タスク	課題	進捗状況
タスク4 	デジタル資料への対応 ① EJの運用方法・業務フローの検討, EJのためのフィールド検討 ② EBOOKのフィールド検討, NetLibrary和書事前登録の評価 [課題] ①大学規模別・状況別のERDB構築・活用事例集 ②テーブル定義・フィールドの仕様確定 ③CATSE(ESERIAL, EBOOK)における書誌, 所蔵データ流通に関する実証実験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧WG5関係者と打合せを行い, ERDBに関する課題設定について意見交換を行った。</li> <li>・NII内で異なるリソースから出てくるデータ投入にあたっての同定の方式や, 実データの検討を行っている。</li> </ul>
タスク5	NACSIS-CATのAPI開発 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WG1メンバーの意見を聴取しつつ, NII内でシステム基本設計書・システム要件定義書を作成し, Wikiで公開した。</li> <li>・NII内で今後, 開発に着手し, 来年度前半に公開する予定である。</li> </ul>
タスク6	遡及入力事業の方向性の検討・書誌の品質の再定義については, タスク1の検討経過を勘案しつつ, NIIが素案作成し, 全員で検討する。	NII内で第2期の報告書(案)をまとめた。NII内で来年度の公募要領・選考基準(案)をまとめた。






ホット  
トピックス

# NACSIS-CAT API 開発のコンセプト

- サービス対象は、アカデミック(学生・教員)および図書館。
- Webcat Plusをはじめとする他のサービスに大学図書館の所蔵情報を提供。
- 図書館向けに、所蔵の絞込み検索の新機能を提供。
- 将来的にはNIIの他サービスと連携して展開。



# 皆様の出してくださった論点

- 目録の課題は大きく3つ   従来の枠組みにとらわれず、一緒に考えていきましょう！
  - レコード調整の負担感
  - 業務の量と品質のバランス
  - 目録の人材育成
- ILLの課題は謝絶率  紙の需要動向は？
- 電子リソースへの対応  現在検討中！
- ユーザーコミュニティの必要性  みなさんの力でぜひ実現を！
- 業務分析の必要性

DoとCheckからPlan Do Check Actionへ！

# 皆様をお願いしたいこと

(本WSを通じて、そしてWSが終わっても)

参加館とNIIが

一緒に考え、

一緒に実行していきましょう！